

旧免許状所持者の記入例

履 歴 書

(甲 号)

表

氏 名	ひがしうえ のりお 東 上 教 男			旧 氏 名	たなか のりお 田 中 教 男				
	年 月 日改姓(名)			性 別	婚姻により 平成21年 10月 15日改姓(名) 男 ・ 女				
	年 月 日改姓(名)			生 年 月 日	昭和60年 12月 6日				
	年 月 日改姓(名)			本 籍	千葉 都・道・府・ 県 都・道・府・県 都・道・府・県 都・道・府・県				
現 住 所	〒 260-0000 Tel 043(223)0000 090(1234)0000 千葉市中央区〇〇町〇丁目〇番〇号			本 籍	千葉 都・道・府・ 県 都・道・府・県 都・道・府・県 都・道・府・県				
	<p>・4月1日時点での住所を記入する。 ・3月末までに転居する予定で、住所が未定の場合は、空欄にする。</p>				<p>・転校した場合は、在学していた学年までを記入する。〇は、いずれにも記入しない。</p>				
学 歴	学 校	学 部	科 名	修 学 期 間	修 業 区 分				
	〇〇市立〇〇小学校			平成 3年 4月～ 9年 3月31日	第 6 学年 卒 ・修・退				
	〇〇市立〇〇中学校			平成 9年 4月～12年 3月31日	第 3 学年 卒 ・修・退				
	千葉県立〇〇高等学校		〇〇科	平成12年 4月～15年 3月8日	第 3 学年 卒 ・修・退				
〇〇大学	教育学部	〇〇科	平成16年 4月～20年 3月15日	第 4 学年 卒 ・修・退	第 学 年 修 退				
<p>・免許取得見込みの場合は、「種類」と「教科又は特別支援教育領域」を記入する。「番号」や「授与年月日」、「授与権者」は空欄にする。</p> <p>・高校と大学は、卒業証書に記載された卒業年月日を記入する。 ・卒業年月日が分からない場合は、「3月 日」と、日を空欄にする。</p> <p>・まだ卒業していない場合でも、卒に〇をする。「見込み」とは、記入しない。</p>									
教 育 職 員 免 許 状	種 類	又 は 特 別 支 援 教 育 領 域	番 号	授 与 年 月 日	授 与 権 者				
	① 小学校教諭1種		平19小1第106号	H20・3・15 <small>有効期間満了日</small>	千葉県教育委員会				
	② 幼稚園教諭1種		平19幼1第57号	H20・3・15 <small>有効期間満了日</small>	千葉県教育委員会				
	③ 特別支援学校教諭2種	知的・肢体・病弱・視覚 H21.12.1	平20特支2第156号	H21・10・1 <small>有効期間満了日</small>	千葉県教育委員会				
	④				<p>・「領域の追加」を行った場合、下段に日付を記入する。</p>				
⑤					有効期間満了日				
教 員 免 許 に 係 る 更 新 制 記 録	確 認 延 期 免 除 更 新 長 考 備 考	H29・10・31	①②③ 免許状授与10年未 満	確 認 延 期 免 除 更 新 長 考 備 考	H40・3・31	①②③	確 認 延 期 免 除 更 新 長 考 備 考	H50・3・31	校長の職にあるため
	<p>・授与の日のうち最も遅い日の翌日から起算して10年となる。</p>			<p>・当該修了確認期限の翌日から起算して10年を経過する日の属する年度の末日となる。</p>			<p>・免除の認定を受けた者は、更新講習修了確認を受けた者とみなす ・当該修了確認期限の翌日から起算して10年を経過する日の属する年度の末日となる。</p>		
	種 類	番 号	授 与 年 月 日						
資格等	学校図書館司書教諭	第80041号	H21・10・21	文部科学省					
<p>・教育に関する資格があれば記入する。 ・自動車免許は記入しない。</p>									
区 分	期 間	実 施 機 関	年 月 日	賞 罰 事 項	賞 罰 機 関				
<p><注意> ・旧免許状所持者は、「確認」「延期」「免除」のいずれかに〇がつかます。</p>			賞 罰	H22・2・15	文部科学大臣優秀教員表彰		文部科学省		

履歴書記入要領

- 「文字・数字」 かい書、算用数字で記入すること。
- 「氏名」 ふりがなを付し、押印すること。
- 「旧氏名」 現氏名が改姓(名)後のものである場合に、改姓(名)前の氏名と改姓(名)年月日、理由を記載すること。
- 「性別」 該当文字に○印をつけること。
- 「学歴」 小学校から入学、卒業、修了等を順にもれなく記入すること。
- 「教育職員免許状」 授与されたもの全てについて、各相当欄に記入すること。
- 「教員免許更新制に係る記録」 教員免許更新制に係る証明書の内容を各相当欄に記入すること。
- 「資格等」 職務に関する資格・免許について、各相当欄に記入すること。
例. 栄養士、学校図書館司書教諭、看護師、保健師
- 「賞罰」 年月日順に記載すること。県教育委員会以上とする。
- 「発令事項」
 - 公務員期間については、次の事項について辞令面の全文を年月日順にもれなく記載し、任命権者の原本証明を受けること。
 - ア 任免、懲戒事項
 - イ 任官、官等級
 - ウ 昇給、昇格
 - エ 法令による身分異動(朱書)
 - オ 給与の規則改正(朱書)
 - カ 校名変更(朱書)
 - オ 退職金等
 - 民間期間については、勤務の期間、社名を記載すること(職に就いていない期間も記載すること。)

写真欄

(6×4cm)
上半身、脱帽

発令年月日		任命権者
平成15 ~16	3 9 3 31 在家庭	
16 ~20	4 1 3 15 大学生	
20 ~	3 16 3 31 在家庭	
20 ~	4 1 5 31 株式会社〇〇アカデミー講師(臨時)	
20	6 1 茨城県公立学校教員として臨時的に任命する	
	ただしその臨時的任用の期間は平成20年7月31日までとする	
	茨城県立〇〇高等学校講師に補する	
	教育職(二)1級25号給を給する	茨城県 教育委員会
20 ~	8 1 8 31 在家庭	
20 ~令和6	9 1 12 31 〇〇物産株式会社勤務(正規)	代表取締役 〇〇 〇〇
7 ~	1 1 1 8 在家庭	
7	1 9 千葉県東金市公立学校教員として臨時的に任命する	
	ただしその臨時的任用の期間は令和7年3月31日までとする	
	千葉県東金市立〇〇小学校講師に補す	
	教育職(二)1級37号給を給する	千葉県 教育委員会
	※ 1日も空白がないように記入する。 ※ 職についていない期間は、「在家庭」として記載する。 ※ 公務員または、これに準ずる職務についていた者は、発令事項のすべてを記載し、任命権者の原本証明を受ける。 (勤務していた当時の履歴書の写しに原本証明があれば、職歴証明書は不要) ※ 非常勤講師・会計年度任用職員の辞令については、千葉県と市町村教委の両方の辞令を記載すること。 ※ 民間での勤務経験がある場合(臨時・正規問わず)、職歴証明書が必要です。	

・大学入学前に浪人期間がある場合は、浪人期間の「在家庭」と、大学生期間の「大学生」を記入する。
・浪人期間がない場合は、卒業年月日の翌日から3月31日までの「在家庭」のみを記入する。

・正規または臨時を記入する。

・他県の臨任職員(常勤・非常勤)についても、辞令を転記する。

・配付された辞令の発令文を、そのまま転記する。
・発令文の一文は、一行に収める。
・句読点はつけない。

・任命権者は、発令文の最後の行に記入する。